

市長記者会見要旨

(令和2年4月30日 臨時記者会見用)

新型コロナウイルス感染症対策に関わる支援について

新型コロナウイルス感染症は、世界中に感染が拡大し、国内でも連日感染者が確認されるなど、依然として大変に厳しい緊迫した状況が続いております。

本市におきましても、2月には「対策会議」を設置し、3月には最初の発症者が確認されましたので、ただちに「対策本部」を立ち上げ、警戒体制を整えました。

その後、4月には市内の事業所において、複数の感染者が発生するなど、大変厳しい状況になりましたが、4月16日以降、市内での感染者は確認されておられません。

この間、市民の皆さまには学校の休業をはじめ、外出の自粛、イベントや会合の中止など、様々な制約やご不便をおかけしてはいますが、温かいご理解のもと、良識ある行動に徹していただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

また、医療関係者の皆さまには、自らの感染という大変なリスクを負いながら、最前線で献身的に活動されておりますことに、衷心より感謝と敬意の念を表させていただきます。

感染症対策は、正にこれからが正念場であり、この大型連休期間が、拡大を防げるかどうかの分水嶺となりますので、当分の間は、引き続き移動や帰省を控えていただき、いわゆる「3密」状態は極力避けて頂きますようお願い申し上げます。

国の緊急事態宣言で、様々な自粛、制約が強いられる中、地域経済が日増しに疲弊の度を強め、生活基盤を揺るがすような事態に、市民の皆さまは、強い不安の中で日々をお過ごしのことと、お察しいたします。

このような状況を踏まえ、市では、国の緊急経済対策に加え、早急に実効性のある支援策を実施するべく、連休明けには、臨時議会を招集し、これに対応した補正予算をご議決いただくよう鋭意取り組んでおります。

それでは、市独自の「感染症対策支援」について、申し上げます。

はじめに、事業者に向けた支援である「事業者持続化給付金事業」についてであります。

これは、大きな影響の出ている市内の中小規模事業者の、事業継続を強くお支えするために、市独自の支援を実施するものであります。

市では、国の持続化給付金に加え、独自の支援策として、これに30%を上乗せし、法人60万円、個人30万円を上限に給付させていただきます。予算規模は、約3億円となります。受付は、5月中旬から順次開始したいと考えております。

次に、子育て世帯に向けた支援策についてであります。

児童手当受給者に対しまして、国では児童一人当たり1万円を上乗せいたしますが、市単独分として、更に一人当たり1万円を上乗せして給付させていただきます。加えて、児童扶養手当受給世帯には、世帯に1万円を追加して給付させていただきます。

また、4月から9月までの半年間、3歳未満児の保育料無償化を第1子まで拡大し、公立、私立保育所の副食費無償化、小中学校の給食費無償化、放課後児童クラブの利用料無償化を実施し、感染症の影響により負担が増している子育て世帯に対して、力強く支援してまいります。これに係る申請受付は、感染予防のため郵送方式で対応いたします。

その他、妊婦出産支援、医療機関等への支援など、市独自の対応を併せて進めてまいります。

今回の市単独の支援策に係わる予算措置は、約7億円を想定しております。

次に、特別定額給付金事業についてであります。

これは、国の施策として、感染拡大で影響を受けている家計を支援するため、国民一人あたり10万円が一律給付されるものであります。

この給付に係る相談や手続き支援のため、市では、5月1日から「臨時給付金支援窓口」を開設し、より円滑な給付になりますよう努めてまいります。

以上、本市が実施する新型コロナウイルス感染症対策に関わる主な支援策についてご説明いたしました。

今回の支援策につきましては、いずれも財政調整基金を活用し、臨時議会で議決をいただいた後に、スピード感を持って実施してまいります。

国の動向を注視し、県や関係機関と連携する中、市民の皆さまの生活と地域経済を守り、感染拡大防止と不安解消に向け、全力で取り組んでまいります。

なお、本日、市内の小中学校の臨時休業につきまして、5月24日まで再度延長することを決定いたしました。児童、生徒、保護者のみなさんには、さらにご負担が増しますが、感染防止を最優先事項といたしておりますので、ご理解ご協力をお願いします。

南アルプス市民の皆さまに、重ねてお願い申し上げます。

これからのひとりひとりの行動が、自分自身を守り、家族を守り、大切な人を守り、地域を守ることに繋がります。

みんなで力を合わせて、市民一丸となって、この難局を乗り越えていきましょう。